

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 三菱化学株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル
----	-------------------------	----	--

本票作成部署名	三菱化学株式会社 水島事業所 企画管理部
---------	----------------------

主たる業種	分類コード	16	業種名	化学工業
-------	-------	----	-----	------

事業の概要	石油化学系基礎製品製造業 エチレン生産能力43.1万トン/年(代表製品)
-------	--------------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	三菱化学株式会社水島事業所	倉敷市潮通3丁目10番地
	②	水島製造所(旧三菱樹脂(株))	倉敷市松江4-6-1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 24 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 29 年度)
	1,105,786 t CO ₂	1,176,981 t CO ₂	1,105,786 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	三菱化学株式会社水島事業所	1,161,406 t CO ₂
	②	水島製造所(旧三菱樹脂(株))	15,575 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度 (5 箇年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(26) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 6.4 %	0.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26) 年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等
	石油化学系基礎製品製造業	11.9 GJ/t 以下	11.9 GJ/t	100.0%

【削減状況の自己評価】

・平成26年度のCO₂削減施策については、予定通り実行した。
 しかし、事業所のプラント稼働率が上昇した為、事業所としての消費エネルギーは増加し、結果、CO₂排出量は増加する事となった。
 ・エチレンベンチマーク指標は、過去からのプラント停止による固定エネルギーの比率の増加により非常に厳しい状況ではあるが、水島事業所の基幹プラントであるエチレンプラントへの副原料使用を増加する事によりベンチマーク指標の目標をほぼ達成する事が出来た。

【推進体制】

- ・推進体制：水島事業所組織に順ずる
- ・ISO14001認定取得：2000/03
- ・水島事業所RCレポート発行：2004年度～毎年

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
三菱化学株式会社水島事業所	<p><平成26年度に実施した措置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・芳香族製造装置 蒸気削減 ・水素、オキソ製造装置 製造設備最適配置によるロス削減 <p><今後実施予定分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・溶剤製造装置 蒸気ロス削減 ・アルコール製造装置 蒸気削減
水島製造所（旧三菱樹脂(株)）	<p><平成26年度に実施した措置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・OPS製造装置 高効率空調機更新による電力削減 ・KTF製造装置 運転最適化による電力削減 <p><今後実施予定分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロウィンバーター化による電力削減の展開

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- 商品の普及により世の中の温室効果ガス削減に貢献できる製品として、
 - ・白色LED用窒化ガリウム基板の製造運転開始
 - ・有機薄膜太陽電池のパイロット設備の稼働継続中
- その他情報
 - ・石油系タールピッチ由来のCO₂（温対法の算定対象活動・区分に該当しない）が、317(千tCO₂)発生している。
- 冷暖房設備の使用電力削減のために、クールビズ・ウォームビズ運動に積極的に取り組み中